

第18回 公開研究会

《三者の協同による開かれた学校づくり》

大東学園高等学校



2022年11月23日(水・祝)

9:30~	10:15~12:45	12:45~13:30	13:30~15:00	15:20~16:20
受付開始	三者協議会	昼食休憩	講演	参加者懇談会

<講演者プロフィール>

西山溪 (にしやま けい)



1990年生まれ。埼玉県出身。キャンベラ大学熟議民主主義とグローバルガヴァナンス研究センター博士課程修了。シュトゥットガルト大学客員研究員、オーストラリア国立大学上級研究員を経て、現在同志社大学政策学部助教。専門は子ども・若者の政治参加および民主主義教育の実践的研究。オーストラリアと日本の学校で、熟議型民主主義教育の実践を数多く行っている。

- 右のQRコードまたは下記のサイトから申し込みページにアクセスし、必要事項を入力してください。 <https://forms.gle/lqKvFLUytQSmyHHE8>



- お問い合わせにつきましては、電話、または e-mail にて下記までお願いいたします。

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 7-22-1 TEL:03-3483-1901

muto@daitogakuen.net 副校長:武藤由美

- 参加費:無料 昼食は各自ご用意ください。

- 申し込み締切日:11月18日(金)

- 08:40~9:30は授業を行っております。授業見学をご希望の方は申込時にその旨お申し出ください。

- 申し込み時に記入していただく住所・氏名・電話番号などの個人情報、**「個人情報の保護に関する法律」**に基づいて厳重に管理いたします。

- ご来校の際はマスクを着用の上、感染症対策にご協力をお願いいたします。なお、感染拡大等の理由から内容が変更、または中止となる場合がありますので予めご了承ください。詳細は本校HPでご確認ください。

○アクセス

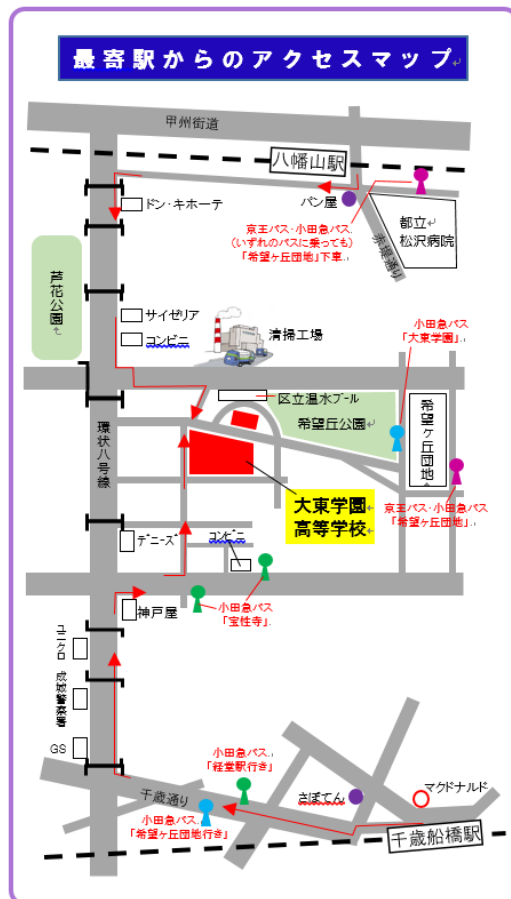
京王線八幡山駅より徒歩 15 分

または 希望ヶ丘団地・経堂駅行きバスにて希望ヶ丘団地下車3分

小田急線千歳船橋駅より徒歩 15 分

または 経堂駅行きバスにて宝性寺下車徒歩 2 分

希望ヶ丘団地行きバスにて大東学園下車徒歩 2 分



大東学園の「三者の取り組み」は今年で 20 年目となりました。当初は年に二回の三者協議会が中心の取り組みでしたが、三者の取り組みは徐々に広がりを見せ、三者交流会や三者懇談会、地域交流懇談会などが加わり、今では一年間のサイクルがらせんを描きながら次年度に続く取り組みとなっています。生徒たちは各クラスの活動から各委員会、生徒会執行委員会で、保護者の会（大東学園では東和会といいます）もクラス活動、各専門部、役員会…と年間を通じて意見集約や意思統一の取り組みがかなりのボリュームとなります。自主活動とはいえ指導にも手間のかかる取り組みを私たちが教育づくりの柱と据えて取り組みを続けられたのは、それが大東学園の創立の歴史、建学の精神と教育目標「人間の尊厳を大切にするとつなげるものだからではないか」と思います。本校は今から90年前、守屋により創立されました。東が社会活動家・教育者として活動した時期、明治の終わりから昭和にかけては、それはまさに日本の戦争の時代です。「富国強兵」の国策の中で真っ先に犠牲になっていくのは社会的弱者である「こども」「女性」「障害のある人」たちです。そのような時代背景の中で、東は当時としては非常に先進的な人権意識を持ってそれらの擁護の運動と教育づくりに取り組みました。また、その後の学園はいく度かの経営上の危機や学校運営上の危機を迎えますが、その都度、学校運営の仕組みを開かれたものとして民主化し、平和と人権、民主主義の教育を大切にしてきました。「三者協議会」の取り組みのもたらすものの一つは、一人ひとりでは小さく感じられる力が、意見や考えが違ってお互いの立場の違いを理解し合い、話し合いで乗り越え、人と人が繋がる事で実際に自分たちの生活空間を改善する体験から得る自己効力感です。これは守屋東が力を尽くした教育づくりと社会変革の取り組みに通じるものであると感じます。

マニュアルのない「三者の協同による学校づくり」を手づくりですすめていくのは始めにも述べましたように、なかなか手間がかかります。その取り組みを続けてこられたのは、それが守屋東の建学の精神にも繋がるものであることが一つ。また、その後の学園の歴史から、大東学園にとってフェアで民主的な学校運営は私たち自身の矜持であり、「生徒が主人公」の学校として、そこに生徒やその保護者が参加することは当然の事と考えられる学校文化があるからではないかと思えます。

公開研究会にご参加いただき、私たちの教育づくりに忌憚のないご意見をいただき、私たちの教育づくりを一步進めるためにお力をお貸しください。また、批判的に検討していただくことで、みなさまの教育づくりに微力ながらお役に立てるかもしれません。たくさんみなさまの参加をお待ちしています。

生徒会会長 町田悠人

大東学園が行っている三者協議会とは、学校生活の設備や服装などの改善や大東学園の授業のあり方、学びについて生徒・教職員のみならず保護者も含めて話し合い、三者にとって安心できる良い学校を作っていくための場です。昨年、＜制服規定＞ではパーカー、トレーナーの色規定の改善、＜授業＞では授業アンケートの改善、＜行事＞では新たに遠足行事を追加する。この3つを要求として出しました。昨年の要求として行事の要求が個人的にとっても面白いと思ったので紹介します。遠足行事、これは一見ただ遊びに行きたいだけのように見えますが、実はこの要求には大きな目的があります。それは今回の遠足行事を年度の初めに実施することで生徒同士の関係性の構築ができる、これにより授業中に生徒同士で注意しあえるようになる。また、個人個人の学びからもっと視野を広げ、多種多様な学びへと変えることが出来る。そう思い要求しました。今年は、昨年の要求から生徒一人一人に自分自身のことについて考えて欲しい、そう思い「Think about yourself」というスローガンを立て授業や制服について考えています。このように生徒が深く考えている場面が多く見られ新たな発見が出来ると思うのでぜひ来てください。

三者協議会は東和会の年間行事の中でも、大事な活動の一つとして位置付けされています。

私たちは保護者ではありますが、ある時は保護者の立場で、またある時は社会にひと足先に出ている先輩として、意見を述べる場です。また、この三者協議会は、保護者にとってもイマドキの生徒の、普段考えていることを直接生で聞くことができる良い機会にもなっています。

一つのテーマについて、生徒、教職員、保護者が、それぞれの立場で、同じ土俵の上で意見交換することで、それぞれの想いや考え方の違いに気付き、新たな発見がある、視野が広がる。そこには、生徒から教えられることや、感心させられることもたくさんあります。

コロナ禍でコミュニケーションの取りづらい中ですが、私たち保護者は、クラスを一つの単位とし、各クラスの担当者を中心として、可能な限り沢山の保護者を巻き込みながら三者協議会に向けて意見集約をしています。

三者協議会は一日で出来ているのではありません。この日に至るまで、様々な場面での話し合いが行なわれています。その積み重ねが三者協議会の根幹にあるからこそ、三者の信頼関係が増していき、本音で話することができる、三者協議会にはそんな魔力があると思っています。

「三者協議会」を通して、三者で協議することの奥深さと面白さを体感していただけたら幸いです。